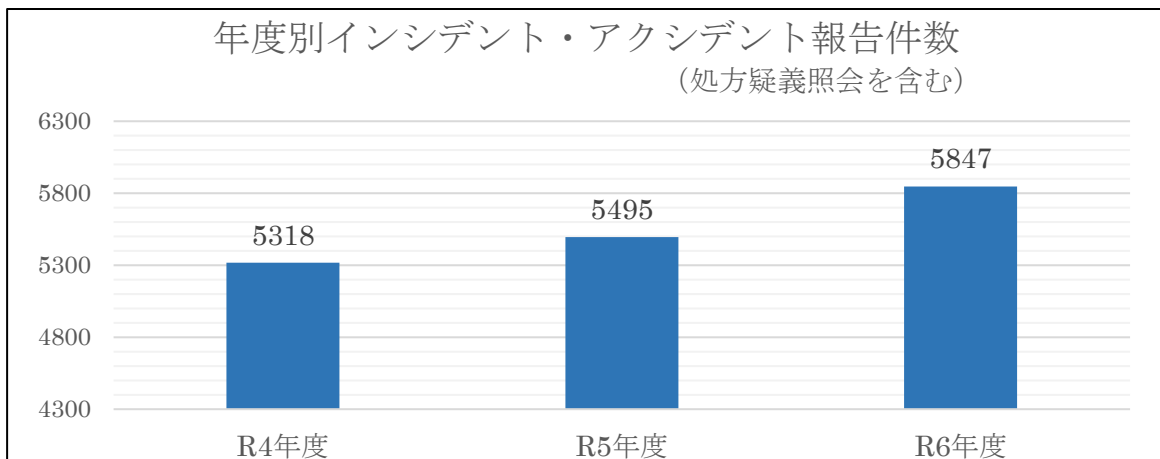
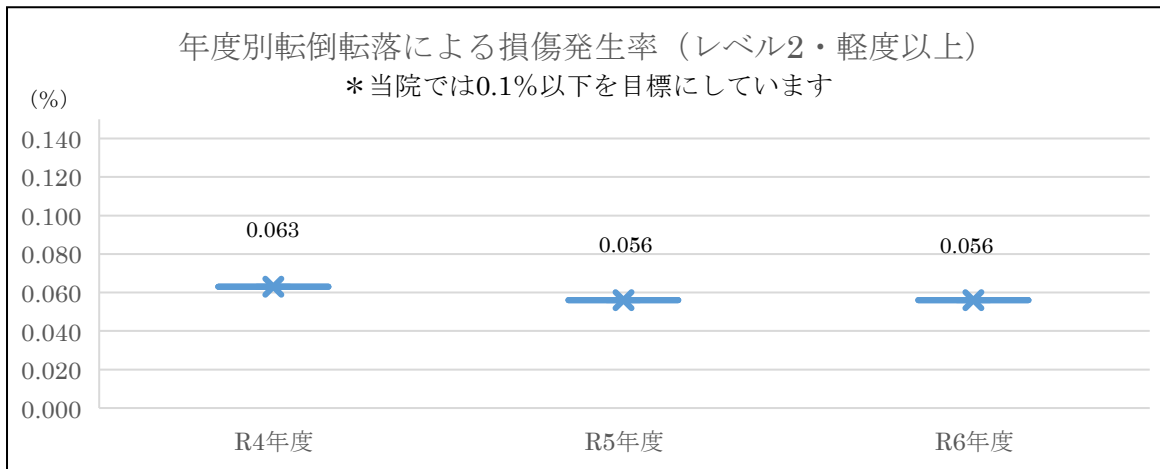


【 インシデント・アクシデント報告の考え方 】

「安心と信頼の医療」を提供するためには、「医療の安全性」の確保が根幹をなすものでなければなりません。重大な事故の背景には軽度な事故があり、またその背景には事故に至らないがヒヤッとした事例(ヒヤリ・ハット)が多くあるとされています。重大な事故を防ぐためには、多くの情報を集め、安全対策を講じていくことが必要であることから、当院では、「報告する文化の醸成」を目指し、ヒヤリ・ハットなど多くの事例の報告を推進しております。



※中央病院 医療安全管理委員会資料より



※中央病院 Q I プロジェクト (日本病院会) 報告データより

【 転倒・転落を防ぐためのお願い 】

病院の環境は住み慣れた家庭環境とは異なります。生活環境の変化に病気やけがによる体力、運動機能の低下、思いがけない転倒・転落が起こることが少なくありません。

- ・ 転倒・転落はベッドの周囲で起きやすいので、乗り降りにご注意ください。
- ・ 履物は転倒予防に重要です。スリッパは滑りやすいので、かかとがあるゴム底の運動靴やリハビリシューズをご準備ください。
- ・ 車輪のついている椅子やテーブルなどは、不意に動いたりして危険ですので注意してください。

入院の際には、「入院のご案内」を見て注意事項をご参照ください。